

## 2017年度個人研究報告テーマ一覧

## 2017年度個人研究報告テーマ一覧

## 国語科

氏名	研究テーマ	研究発表・論文等 (雑誌名や学会名、題名、発行・発表年月日等)	研究にともなう研修・出張先 (年月日)
有木 大輔	①高校生のための漢詩づくり指導法		
	②大沼枕山明治期詩業の比較文学的研究		
	③唐詩における異読の包括的研究		
澤田 英輔	①作文教育における効果的なフィードバック		
	②学校図書館の整備とリーディング・ワークショップ		
杉村千亜希	①中古文学作品の教材化について		
	②和歌の指導法について		
関口 隆一	①川端康成の評論の研究		
	②現代評論の教材化の研究		
千野 浩一	①古典の導入教材のあり方		
	②近世文学作品の教材化		
	③古典の誤読に注目した読解力の育成		
東城 徳幸	①昭和期の文学作品とその教材化の研究		
	②国語教育への文学理論の導入		
平田 知之	① 児童生徒のコミュニケーション能力向上に資する芸術表現体験についての実践研究		
	② 国語の特質についての指導		

## 社会科

氏名	研究テーマ	研究発表・論文等 (雑誌名や学会名、題名、発行・発表年月日等)	研究にともなう研修・出張先 (年月日)
大野 新	広島から考える平和教育		
	水俣から日本を考える	探究型学習をめざす課題研究への取り組み —水俣フィールドワークの実践から—	熊本県水俣市(2017・7・31～8.3) 高2課題研究引率筑波大学教育学会発表(2018.3.10)
	新教育課程と地理学習		地理教育研究会第56回駒場大会(2017.8.5～7)

氏名	研究テーマ	研究発表・論文等 (雑誌名や学会名、題名、発行・発表年月日等)	研究にともなう研修・出張先 (年月日)
小佐野浅子	科学としての歴史学を考える授業	筑波大学附属駒場論集 第57集	東北史学会大会 (仙台)
	「中近世移行期」をどう学ぶか		
	歴史を学ぶ意味を考える		
早川 和彦	①新科目「歴史総合」のあり方について	全附属高校部会@学大国際(2017. 10. 27)	高大連携歴史教育研究会大会 @東京外語大(2017. 7. 29)
	②植民地期朝鮮の農村振興運動における政策立案過程の研究	中央大学政策文化総合研究所 (プロジェクト名「韓国農村の生存戦略と日本—その歴史的経緯を中心に—」客員研究員(2017. 10. 20-2019. 3. 31)	学習院大学友邦文庫、東京大学韓国朝鮮文化研究室など
	③教科教育・実習生育成		教育実習事前指導@筑波大学(2018. 3. 28-29)
宮崎 大輔	世界の平和と領土問題		地理教育研究会第56回駒場大会@筑駒 (2017. 8. 5~7)
	地理総合で何を扱うか		日本地理教育学会第67回大会 @上越教育大学 (2017. 8. 7~8)
	福島と原発事故の教材化	平成29年度 スーパーサイエンスハイスクール研究開発実施報告書	
山田 耕太	①生徒が歴史叙述の主体となる授業実践 — 教科書記述を検討するグループ学習	筑波大学附属駒場論集 第57集	歴教協神奈川大会@法政第二中・高等学校(2017. 8. 4-6)
	②歴史教科書の比較検討	1. 「世界史的視野で中学校歴史教科書の前近代史叙述を検討する」共同執筆 (『歴史学研究』2017年4月号掲載) 2. 「時評 歴史教科書と教室のいま」(『歴史学研究』2017年4月号掲載) 3. 「日本で加害の事実をいかに学ぶか」(『Historiens & Geographes』2017年5月号掲載)	
	③東アジアの視点で歴史学習を考える	日中韓三国共通歴史教材編集委員	三国編集会議@ソウル(2017. 7. 29-30)
山本 智也	①新科目「倫理」の基本構想	「倫理的分野の学習における「価値観の揺らぎ」の意義 公民教育学会第28回研究大会で発表”	東海学園大学 (2017. 6. 24)
		新学習指導要領 (公民科) 協力者	文部科学省
		東京書籍『倫理』編集委員、同『現代社会』編集協力	
		「「命の授業」を高校「倫理」で問いなおす」 日本倫理道德教育学会第2回大会で発表	筑波大学東京キャンパス(2017. 12. 10)

氏名	研究テーマ	研究発表・論文等 (雑誌名や学会名、題名、発行・発表年月日等)	研究にともなう研修・出張先 (年月日)
山本 智也	②政治的リテラシーの育成	「論争問題学習における政治的対立軸の取り扱い」(松崎多宏氏と共同発表) 日本社会科教育学会第67回研究大会で発表	千葉大学 (2017. 9. 16)
	③SSHへの社会科の貢献	「SSH校における社会科の役割」 本校論集第57集に個人研究として寄稿	
	④「特別の教科 道徳」のカリキュラム編成	校内P2および「道徳」検討委員会で情報提供	筑波大学附属小学校(第8回道徳教育研究大会2017. 12. 27) ほか
小貫 篤	①公民科と他教科の教科間連携のあり方	「公民科「倫理」と理科「物理」の教科間連携のあり方ーAIを通して人とは何かを考える実践を通してー」(金盛陽氏との共同発表) 公民教育学会第28回研究大会で発表	東海学園大学 (2017. 6. 24)
	②民法に関する学習のあり方	「『公共』における家族法に関する学習のあり方ー思想を用いて『同性婚を法的に認めるか』を論理的に議論する実践からー」 法と教育学会第8回学術大会で発表	一橋大学 (2017. 9. 3)
	③中等教育における法教育のあり方	法教育推進協議会高校教材作成部会委員	法務省
	④交渉教育、主権者教育のあり方	1. 『社会科教育』明治図書、6月号、9月号、12月号執筆 2. 共著『18歳からの政治参加』清水書院、2017. 9. 15 3. 共著『21世紀の教育に求められる「社会的な見方・考え方』』帝国書院、2018. 3	

### 数学科

氏名	研究テーマ	研究発表・論文等 (雑誌名や学会名、題名、発行・発表年月日等)	研究にともなう研修・出張先 (年月日)
更科 元子	①授業に生かす教具作りについて	・本校第44回教育研究会(2017. 11. 18)	・数学教育協議会第65回全国研究大会 (8/4~6琉球大学)
	②大学での学びにつながる教材・カリキュラムの開発	・本校論集第57集、創造的な教材・指導法及びカリキュラムの開発ー中高6カ年から大学へ(2018. 03. 31)	・SSH数学科教員愛知研修会 (8/28~29愛知)
	③中学での初等幾何の指導について		
鈴木 清夫	①大学での学びにつながる教材・カリキュラムの開発	・本校第44回教育研究会(2017. 11. 18)	・SSH数学科教員愛知研修会 (8/28~29愛知)
	②数学Ⅲの指導について	・本校論集第57集、創造的な教材・指導法及びカリキュラムの開発ー中高6カ年から大学へ(2018. 03. 31)	
	③中学での2次関数の指導について		

氏名	研究テーマ	研究発表・論文等 (雑誌名や学会名、題名、発行・発表年月日等)	研究にともなう研修・出張先 (年月日)
須田 学	①大学での学びにつながる教材・カリキュラムの開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校第44回教育研究会(2017. 11. 18)</li> <li>・本校論集第57集、創造的な教材・指導法及びカリキュラムの開発—中高6 年から大学へ(2018. 03. 31)</li> <li>日本数学教育学会誌 第99回全国算数・数学教育研究 (和歌山) 大会特集号 (2017. 8. 7-8. 8) 「複素数の構成と幾何学への応用—理学専攻科, SSH指定校での実践を踏まえて—」</li> <li>「問題解決のための課題作成法の分析—基調発表を踏まえて—」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本数学教育学会</li> <li>第99回全国算数・数学教育研究 (和歌山) 大会 (8/7~8/8)</li> <li>・SSH数学科教員愛知研修会 (8/28~29愛知)</li> </ul>
	②コンピュータを利用した教材の開発		
	②複素数平面の指導法の研究		
	③問題解決のための課題作成法の研究		
	④証明を重視した整数論, 三角関数の教材開発		
⑤コンピュータを利用した教材の開発			
須藤 雄生	①大学での学びにつながる教材・カリキュラムの開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校第44回教育研究会(2017. 11. 18)</li> <li>・本校論集第57集、創造的な教材・指導法及びカリキュラムの開発—中高6 年から大学へ(2018. 03. 31)</li> <li>日本数学教育学会誌 第99回全国算数・数学教育研究 (和歌山) 大会特集号 (2017. 8. 7-8. 8)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本数学教育学会</li> <li>第99回全国算数・数学教育研究 (和歌山) 大会 (8/7~8/8)</li> <li>・SSH数学科教員愛知研修会 (8/28~29愛知)</li> </ul>
	②再帰の考えに着目した教材の研究		
	③集合と場合の数の導入に関する教材の研究		
	④2次関数のグラフと式を関連付ける教材の研究		
町田多加志	①大学での学びにつながる教材・カリキュラムの開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校第44回教育研究会(2017. 11. 18)</li> <li>・本校論集第57集、創造的な教材・指導法及びカリキュラムの開発—中高6 年から大学へ(2018. 03. 31)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSH数学科教員愛知研修会 (8/28~29愛知)</li> </ul>
	②中学校幾何での演繹法の指導研究		
	③数学的思考を育てる作問の研究		
	④理解を助けるICT教材・教具の研究		
三井田裕樹	①数理統計学に繋がる中等教育の教材の開発・研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校第44回教育研究会(2017. 11. 18)</li> <li>・本校論集第57集、創造的な教材・指導法及びカリキュラムの開発—中高6 年から大学へ(2018. 03. 31)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSH数学科教員愛知研修会 (8/28~29愛知)</li> </ul>
	②中学校での幾何指導の研究		
	③数値実験を用いた統計学教材の研究		
	④高等学校教育での線形代数指導の研究		
吉崎 健太	①大学での学びにつながる教材・カリキュラムの開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校第44回教育研究会(2017. 11. 18)</li> <li>・本校論集第57集、創造的な教材・指導法及びカリキュラムの開発—中高6 年から大学へ(2018. 03. 31)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSH数学科教員愛知研修会 (8/28~29愛知)</li> </ul>
	②中学における代数分野の教材の開発・深化		
	③アクティブ・ラーニングのための教材開発及び具体的方策について		
	④高次方程式の判別式について		

## 理科

氏名	研究テーマ	研究発表・論文等 (雑誌名や学会名、題名、発行・発表年月日等)	研究にともなう研修・出張先 (年月日)
真梶 克彦	①物理グループ別実験の開発と実践(SSH)		
	②ICTの活用を視野に入れた「電磁気分野」の教材開発		
梶山 正明	①生徒の興味・関心を高める化学実験教材の開発 (既成教材の内容検討と実験書の作成)	梶山正明, 電子で考える有機化学の理論, 化学と教育, 2017, 65, pp440-443	
	②アゾ染料合成条件の再検討		
	③高等学校の新しい化学カリキュラムの研究	梶山正明, 改訂された中学校学習指導要領との関連を意識した「原子量」「電池」の導入, 理科の教育, 2017, 66, pp738-740, 東洋館出版社	
吉田 哲也	①生体関連物質を用いた化学実験の開発		
	②高2ゼミ「障害科学;ともに生きる」における附属特別支援学校との連携		
宇田川麻由	①生態学分野の実験・実習教材の開発	宇田川麻由, 第3学年第2分野「自然と人間」の基本的な考え方と内容-科学的に考察して判断する力を育む-, 理科の教育, 2017, 66, pp472-475, 東洋館出版社 「環境年表ワークシート」作成協力者, 丸善出版	
	②探究のサイクルを回す生徒実験の在り方	実践研究:「分類の方法」を学ぶことを通して自然科学の方法を身につける, 中等教育資料, 平成29年9月号, pp30-33, 学事出版 平成29年版 中学校 新学習指導要領の展開 理科編, 2017, 明治出版 執筆協力者	
	③生殖や遺伝子関連技術に関する生命倫理を扱う授業の研究	「生殖や遺伝子関連技術について考える生命倫理」口頭発表	日本生物教育会第72回全国大会(帝京大学2017. 8. 3-4)
仲里 友一	①ゲノム情報を活用した教材の開発		
	②ショウジョウバエを用いた様々な実験教材の開発と改良		
高橋 宏和	① <i>Vicaryella</i> 属の再分類		
	②日本の下部中新統産熱帯性干潟貝類化石群集の特性について		第187回湘南地球科学の会(横浜国立大学: 2017. 12. 16)

保健体育科

氏名	研究テーマ	研究発表・論文等 (雑誌名や学会名、題名、発行・発表年月日等)	研究にともなう研修・出張先 (年月日)
合田 浩二	①姿勢の記録と分析方法の教材化		
	②陸上競技における適正な目標設定		東京都高体連強化講習会
	③睡眠・食事・運動と体温の変動と心の健康との関わり		2017. 12/16, 2018. 2/11
登坂 太樹	①オリンピック教育の教材開発		SSH講演会 3月開催 クーベルタン-嘉納ユースフォーラム2017
	②日本剣道形の成立背景の研究		東京都剣道連盟主催講習会、 東京都高体連剣道専門部主催講習会、 学校剣道連盟主催講習会
横尾 智治	①保健体育科授業実践の向上	日本体育測定評価学会『体育測定評価研究』に投稿 日本発育発達学会『発育発達学研究』に投稿	
	②中学・高校サッカー部の運動能力発達	2018高校サッカー年間 全国高等学校体育連盟サッカー部編 講談社「得点場面集計」(2018. 3) 「ジュニア期のスポーツライフマネジメント」筑駒論集57集 (2018. 3. 31)	
徐 広孝	①高等学校体育のサッカー单元における戦術技能の絶対評価基準と達成度評価票の開発(科研費奨励研究)	日本体育測定評価学会『体育測定評価研究』に投稿準備中	
	②サッカーの攻撃におけるプレーの最適化アルゴリズムの開発	『統計数理』第65巻, 第2号, pp309-321, 2017年12月	
山合 洋人	①保健授業評価尺度の開発	日本体育学会第68回大会参加	保健授業研究会への参加 (4/28, 7/28, 8/30. 31, 11/24, 12/22, 1/19, 2/20, 3/28)
	②保健体育科授業実践の向上	日本保健科教育学会第2回研究大会参加, 第15回日本教育保健学会課題別セッションで発表	

養護教育

氏名	研究テーマ	研究発表・論文等 (雑誌名や学会名、題名、発行・発表年月日等)	研究にともなう研修・出張先 (年月日)
早貸千代子	①精神保健メンタルヘルスリテラシー教育のプログラム開発及び実践	THOPE健康教育夏の研修会にて発表 2017. 8. 3。本校教育研究会にて研究授業。 中2授業にてメンタルヘルスリテラシー教育を実践。	日本学校保健研究会夏季セミナー・発表 (2017. 7. 29) 第44回教育研究会にて授業 (2017. 11. 18) 日本教育保健研究会にて発表 (2018. 3. 4)
	②高2課題研究「障害科学；ともに生きる」-附属特別支援学校との連携-		筑波大学附属聴覚特別支援学校(2017. 7. 10). ダイアログインザダーク (2017. 7. 18) 東京大学先端科学技術研究センター (2017. 10. 14)、筑波大学サイバニクス研究センター (2017. 12. 19)、筑波大学附属大塚特別支援学校 (2018. 1. 20) 等
	③インクルーシブ教育-附属11校での取り組み-		筑波大学附属大塚特別支援学校 (2017. 7. 13)、筑波大学普通附属と特別支援の連携推進委員会 (複数回)、黒姫高原共同生活実行委員会・運営委員会(2017. 5-9月)、黒姫高原共同生活 (2017. 7. 26-28)、共生社会を目指す講演とシンポジウム (2017. 12. 10) 等
	④養護教諭が行う健康相談活動について	日常的に実践	
	⑤筑駒LBC	高1の3学期に実践	
	⑥特別支援教育について	共生社会の時代の特別支援教育-多様な子どもを多様な人材で支援する-2017連携とコンサルテーション	
亀村ひかり	①学校保健への働きかけについて	日本教育大学協会養護教諭部会・全国国立大学附属学校連盟養護教諭部会研究集録52	・日本教育大学協会養護教諭部会・全国国立大学附属学校連盟養護教諭部会第52回研究協議会 (2017. 8. 8-9) ・全附属養護教諭部会常務理事研究部会(複数回)
	②発達障害に関する支援について		
	③子どもの心と体の実態 -SNS利用とのかかわり-		・東京都養護教諭研究会 ・筑波大学附属小学校教育研修会
	④本校におけるSST (アサーションを中心に) 授業実践の試み		・埼玉大学附属中学校教育研究協議会



技術・家庭・芸術科

氏名	研究テーマ	研究発表・論文等 (雑誌名や学会名、題名、発行・発表年月日等)	研究にともなう研修・出張先 (年月日)
植村 徹	①クラウドを利用した共同学習環境の検討	・「OneNote Class Notebook を利用した家庭科作業時間の積み増し-課題のやりとり、共同作業、一斉連絡-」, Microsoft Educator Community所収, 2017年5月	・つくば市 2020年代の学びを変える先進的ICT教育研究大会 (2017. 11. 21)
	②SSHシリーズセミナー「メディア虎の穴」のカリキュラム構成と実践	・SSH研究開発実施報告書で報告	
	③発達段階に応じた情報モラル学習の検討	・71期中1担任団の一員として実践	・文科省情報モラル教育指導者セミナー(富士通株式会社東海支社 2018. 1. 11)
	④プログラミング学習の普及活動	・「プログラミング学習研究協議会」事務局運営 ・文部科学省 次世代の教育情報化推進事業(情報教育の推進等に関する調査研究)「情報教育推進校(IE-スクール)」(授業実践者・渡邊隆昌教諭)の指導計画助言、クラウド環境整備、広報活動担当	・ICTE情報教育セミナーみなとみらい(神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター KUポートスクエア 2018. 1. 7) ・IE-Schoolに関しては、渡邊教諭に同じ。
小宮 一浩	①日本歌曲から学ぶ日本語の演奏法と表現について	授業や音楽祭指導にて実践	
	②音楽用語や楽語について深く研究し、音楽教員のための楽語を研究	授業や音楽祭指導にて実践	
	③聖書やヘブライ語について研究	授業や中3テーマ学習において実践	(株)ミルトス 聖書ヘブライ語研究会
土井 宏之	①プレゼンテーションスキル向上のための実践・研究	本校論集第57集に掲載	第40回美術科教育学会滋賀大会
	②鑑賞教育における美術解剖学からの視点の導入		
渡邊 隆昌	①中学校技術科教育の本質特性と教育理念	・全日本中学校技術・家庭科研究会「理論と実践(第55号)」編集委員	
	②SSHシリーズセミナー「メディア虎の穴」のカリキュラム評価・授業分析		・平成28年度ysfFIRST国際サイエンスフォーラム. 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校. 2017. 3. 18

氏名	研究テーマ	研究発表・論文等 (雑誌名や学会名、題名、発行・発表年月日等)	研究にともなう研修・出張先 (年月日)
渡邊 隆昌	③高等学校情報科と中学校技術科における情報領域の系統性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省 生涯学習政策局 情報教育課 「次世代の教育情報化推進事業（情報活用能力の育成等に関する実践的調査研究）情報教育の体系的な推進」研究指定推進校</li> <li>・第44回筑波大学附属駒場中・高等学校教育研究会にて実施『物理パラメータとアルゴリズムの改良に着目した着陸ゲームの開発』（2017. 11. 18）</li> <li>・第44回筑波大学附属駒場中・高等学校教育研究会研究協議会『情報活用能力の育成に関連する単元の配列と分析』（2017. 11. 18）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省生涯学習政策局情報課「次世代の教育情報化推進事業」第1回連絡協議会。（内田洋行新川本社．2017. 6. 12）</li> <li>・次世代の教育情報推進事業「情報教育の推進などに関する調査研究」授業視察（筑波大学附属駒場中・高等学校．2017. 9. 19）</li> <li>・文部科学省生涯学習政策局情報課「次世代の教育情報化推進事業」第2回連絡協議会，成果報告会。（文部科学省．2017. 3. 13）</li> </ul>
	④駒場水田における水田稲作学習の指導と教育的意義	・教員免許状更新講習会「特色ある実践『水田稲作学習』に触れる」	

### 英語科

氏名	研究テーマ	研究発表・論文等 (雑誌名や学会名、題名、発行・発表年月日等)	研究にともなう研修・出張先 (年月日)
多尾奈央子	①外国語活動を踏まえた中学3年間の英語教授シラバス・教材開発	筑波大学附属駒場論集 第57集 (2018. 3) 英語科	
	②短期・長期課題のあり方について	『英語教育』（大修館）2017. 7月号	
	③ニュース英語素材から四技能統合型教材開発	『CNN Workbook Extended Course 2018』（共著）2017. 10発行	2018. 3. 31 『英語教員のためのCNNセミナー』
秋元 佐恵	①高校3年間を見据えた教材開発	『CNN Workbook Intensive Course 2018』（共著）2017. 10発行	2018. 3. 31 『英語教員のためのCNNセミナー』
	②効果的な語彙指導の研究		
	③認知言語学研究		
八宮 孝夫	①高3の英語教材の開発	筑波大学附属駒場論集 第57集（2018. 3） 英語科	
	②英語学の知見を英語教育に活かす方法	『英語学を英語授業に活かす』開拓社（共著）	
	③6年間を通した私家版英語カリキュラム	筑波大学附属駒場論集 第57集（2018. 3） 個人	全附属連盟高等学校部会（学芸大国際中等教育学校）

氏名	研究テーマ	研究発表・論文等 (雑誌名や学会名、題名、発行・発表年月日等)	研究にともなう研修・出張先 (年月日)
山田 忠弘	①高3 Writing授業教材（ハンドアウト）の研究開発	関関連茨城大会分科会（英語）	茨城大学教育学部附属中学校
	②LL授業補助教材の研究開発		
	③高校入試出題用英語長文の研究・作成について		
高橋 深美	①コミュニケーション英語Ⅱにおけるより効果的な英語指導のあり方	筑波大学附属駒場論集 第57集（2018.3） 英語科	
	②生徒の知的成長に対応した教材開発		
須田 智之	①中2英語の教材開発	筑波大学附属駒場論集 第57集（2018.3） 英語科	
	②即興型ディベートを用いた英語授業	『英語教育』（大修館）2017.6月号	PDA全国高校即興型英語ディベート合宿・大会
	③英語授業における歌・映画の活用法について	筑波大学附属駒場論集 第57集（2018.3） 個人	
阪田 卓洋	①中1から始めるstory retelling教材の開発		
	②Dictationの効果, 評価		
	③歴史的スピーチを扱った教材開発		